



第 67号
校長 久高利美子

進路講話 2年生へのアドバイス

二月二十一日(木)、来年受験にのぞむ2年生へ、3年生から進路決定、進路実現に向けてのアドバイスの時間を設けました。3名の先輩の発表を紹介します。

○兼次香心さん(名護高校)

私は名護高校の普通科に推薦で合格することができました。私は将来の夢はまだきちんと決めてないから大学進学率の高い名護高校を志願しました。夢がなくても勉強していて損をすることは無いと思うので、とにかく自分から進んで勉強することが大切です。一年生の時多少成績悪くても、今から成績を上げていけばまだ間に合います。今の3年生は1・2年生の時の自分の評定を見て、後悔している人がたくさんいました。後悔しないためにも、苦手なことは放っておかず、理解しないとあとから大変な思いもするし、授業での先生の話聞くことはとても大切になってきます。塾に行かなくても授業の復習や家出自主学習をすれば、評定をあげることはできます。推薦で高校に入ることを考えている人は、検定などの実績が必要です。名護高校だと中学校卒業程度の3級でもA~EのDにしかならないので準2級とってた方が絶対いいです。今から挑戦しないと本当に大変です。検定は

とる量より何級取得したかだから、難しくてもまずは挑戦することが大事です。面接は言葉づかいや身なりなどすべて見られます。普段から言葉づかいに気をつけて面接で自然にできるようにしたほうがいいです。3年生になって後悔しないように、今からたくさんすることに挑戦し、勉強も部活も頑張ってください。

○島袋美那実さん(北部農林高校生活科学科)

私は何か特別な勉強法とかはしてなくて、授業中に分からない所をつくらないように、自分がわからないと思ったらわかるようになるまで友達などに教えてもらっていました。もし、授業中にわからない所ができてしまっても、家で親などに聞いたたり、放課後先生たちに聞いてみるのもいいと思います。私は小さい頃から子供と遊ぶことや弟・妹の世話をするのが好きなので、保育士になろうと決め、そのためには高校から少しずつ専門的なことを学ぶことのできる北部農林高等学校の生活科に進学しようと思いました。面接には自己表現と個性表現というものがあ、自己表現では自分が持っている資格などで面接を受けることで、個性表現では自分がやっている踊りや楽器の演奏などで面接を受けることです。この二つから選ぶので今からでも自分に合っているものを考えてみるのもいいと思います。いろんな先生からたくさん言われていると思うけど、英検や漢検などの検定に挑戦することが大切です。3年生になってもっと検定に挑戦しておけばよかったと思う人は沢山いるので2年生には検定をたくさん受けてほしいです。どんなにテストの点数が

よくても授業を受ける態度が悪かったら成績は下がってしまうのでテストの点数が良くて悪くても授業態度をよくして、授業の雰囲気を作っているほうがいいです。

○大城伶王さん(名護商工高校総合情報科)

授業中は絶対に寝てはいけません。(少し寝るだけで先生の話がとびるので内容が理解できなくなる。解決方法は目薬を持つなど)積極的に発表すること(発表して悪いことは何一つないので積極的に発表しましょう) なぜ私が商工を志望したかという将来「系の会社で働こうと考えていて、商工に行けば検定も取れるし、専門的な学習を1年の頃からできるので自分に合っていると思ったからです。私は1年から生徒会補佐その後副会長をし、部活ではサッカーで一度だけ3位、相撲の成績が2つ砲丸が1つありました。様々なスポーツに参加することでルールも学べたのでよかったし、大会で勝てれば成績にもなります。検定はたくさんとおまきしよう。一つ一つが大きな成績になっていくので頑張ってください。僕は英検しかとってないので後悔しています。面接は練習が大切。いろいろな質問に対応できるようにすること。専門的な分野の学校は、何を学ぶか、どんな検定が取れるかなども確認しておきましょう。
*3年生のみなさんありがとうございました。2年生、とても真剣な態度で聞いていました。